

「広域人事だより」＜②広域人事異動終了者＞ 執筆協力者

No	管内名	市町村名	学校名	氏 名	広域人事異動先管内・所属等				広域人事 終了年月日
					区分	管内名	市町村名	学校名	
9	檜山	厚沢部町	鶉小	松居 裕子	若手	渡島	七飯町	七重小	R3.3.31
10	上川	南富良野町	南富良野西小	内田 亜希子	離島 (中堅)	宗谷	礼文町	礼文小	R4.3.31
11	オホーツク	北見市	三輪小	田所 諒介	若手	上川	旭川市	朝日小	R5.3.31
12	オホーツク	遠軽町	丸瀬布中	武井 翔	中堅	上川	旭川市	愛宕中	R2.3.31
13	根室	別海町	別海中央小	郡山 亮太	若手	釧路	釧路市	新陽小	R2.3.31

(広域人事終了者)

氏名	松居 裕子	現任校	厚沢部町立鶉小学校 (檜山)	前任校	七飯町立七重小学校 (渡島)
----	-------	-----	----------------	-----	----------------

○現任校での勤務状況

厚沢部町立鶉小学校の全校児童は15名で、2年生、3・4年生、5・6年生の3学級と、特別支援学級が2学級あります。今年度は、知的障がい特別支援学級の担任をしています。担当児童は1名で、家庭との連携を大切にしながら日々を過ごしているところです。分掌は教務部を担当しています。

小規模校ならではの学年を超えた子どもたちの関わりの中で、子どもたちはぐんぐん成長しています。「鶉っこタイム」と称した体力づくりの時間を設け、一輪車や校内マラソン、短縄、ボール投げに取り組んでいます。これらの活動は、たてわり班で活動し、楽しい時間を過ごしています。



○広域人事により経験できたこと

異動先の七重小学校は大規模校で、一学年に3クラスずつある学校でした。全校児童が500人を超える規模の学校に勤めるのは初めてのことで、毎日が驚きと戸惑いの連続でした。前任校での4年間は、特別支援学級の担任をさせていただき、大変勉強になりました。子どもたちとの関わりの中で不安に思うことがあるときには、特別支援学級の担任団の先生方からアドバイスをいただき、対応について困ったときには相談させていただけたことが大きな財産になっています。学年団で関わる先生方の人数も多く、様々な視点からアドバイスをいただくことができ、大変感謝しております。特別支援学級に在籍する児童も多く、小規模校では経験できない学年規模・学校規模での連携のあり方や交流学級との関わりについて多くを学ぶことができました。

○広域人事期間中に苦勞したこと

全体での指導の中で、特別支援学級の子どもたちへの関わり方が難しいと感じていました。「個のニーズに応じた支援を効果的に行うことができたら、子どもたちの活動への参加がもっと楽しくなったのでは」、と反省の日々でした。

今でもその視点は忘れずにいようと心がけています。また、交流学級の担任の先生や他の支援学級の先生との連携が欠かせず、自分の想定の甘さを感じる場面が多々ありました。コロナ禍での勤務でもあり、様々な対応を求められたことには苦勞しましたが、良い経験になったと思っています。



○広域人事のやりがいや魅力を伝えるメッセージ

今まで自分が勤務していた地域とは違った学校の様子を知ることができ、新しい刺激をもらうことができます。その学校の特色ある活動や行事、可愛らしい子どもたちとの毎日はとても楽しかったです。あっという間に過ぎてしまったように思います。広域人事となると新しい環境での生活に不安もあるかとは思いますが、自身のステップアップへの貴重な経験につながると思います。興味がある方は、ぜひチャレンジしてみてください。

(広域人事終了者)

氏名	内田 亜希子	現任校	南富良野町立南富良野西小学校 (上川)	前任校	礼文町立礼文小学校 (宗谷)
----	--------	-----	---------------------	-----	----------------

○現任校での勤務状況

現在、特別支援学級担任と特別支援コーディネーターをしております。全校児童23人、地域の皆様の協力を得ながら、カヌー体験、もち米作り・もちつき体験、ベリー摘み体験など、地域の特色を生かした教育活動を行っている学校です。

○礼文島は「花の浮島」

離島の学校というと、若い先生が多いというイメージがあり、自分の経験を生かすことができるのではないかと考えていました。しかし、私が赴任した礼文小学校は自分よりも経験豊富な先生方が多く、逆に、たくさんのことを学ばせていただきました。学級経営のコツ、複式授業の方法、教材・教具の研究、生徒指導、健康観察など、改めて考えさせられたり、新しい技術を身に付けたりすることができました。



海に囲まれた環境は、子育て中の私たち家族にとって、素晴らしい経験をさせてくれました。島で仲良くなった漁師の友人から、おいしい海産物をいただいたり、ウニの殻むき、ほっけの網外しのお手伝いをさせてもらったりしたのも楽しい思い出です。また、「花の浮島」と呼ばれる通り、多くの固有種や希少種の高山植物が咲き乱れるトレッキングコースを歩くのも楽しみの一つでした。

○フェリーしかない!!そして、コロナ禍

私が礼文小学校に赴任した年の冬に、新型コロナウイルスの感染が拡大し、様々な感染症対策が行われました。日常生活を送ることができなくなったのは世界中の子どもたちも同じかと思いますが、島からの外出手段がフェリーしかないため、礼文の子どもたちは、より不便な生活を強いられていました。例年であれば、修学旅行は札幌で礼文島の魅力を伝える「観光大使活動」をしていましたが、宗谷地域を巡る内容に変更しました。

また、教具を買うには送料、到着予定日を念頭に置かねばならず、計画的な授業準備が必要であることを思い知らされました。



○住めば都、礼文最高!

礼文島には、セイコーマートと漁組のスーパーマーケットがあり、生協の宅配「トドック」や、稚内市からのチッキ(フェリーによる託送手荷物)も利用できるため、日常生活を送る上で大きな問題はありませんでした。

児童は素直で優しい子が多く、子どもたちの一生懸命学習に取り組む姿にやりがいを感じながら働いていました。保護者の皆様も教育熱心で、学校の教育活動に対して協力的な方が多いという印象です。

島民の皆様によるフェリーターミナルでのお出迎え・お見送りは盛大で、異動の際には「ああ、この島で働くことができてよかった。また戻ってこられたらいいな」という思いを抱かせてくれました。

新しい環境で挑戦したい、自然豊かな土地で暮らしたい、という方に、広域・離島交流人事をお勧めいたします。



(広域人事終了者)

氏名	田所 諒介	現任教	北見市立三輪小学校 (オホーツク)	前任校	旭川市立朝日小学校 (上川)
----	-------	-----	-------------------	-----	----------------

○現任教での勤務状況

今年度は、5年生の学級担任をしています。3クラスあり、学年の先生や専科の先生と連携しながら授業を進めたり、行事の打合せをしたりしています。地域校務分掌は研修部で、他校の公開授業への参加の声掛けや、校内研修の準備・運営の業務に携わっています。「子どもを主語に！」をキーワードに、事後研修で色々な意見を出し合える学校風土を作ろうと、研修部員中心に一丸となって研修を進めています。初任段階の先生方が多く在籍する中で、ベテラン・中堅層と若手の先生方がそれぞれの視点で意見交換を行うことができるエネルギーな職場であると感じています。

○広域人事により経験できたこと

生活科の中で旭山動物園の協力を得て学習を行ったことは貴重な体験でした。実際に動物園に行き、生き物の生態について学ぶことができたことは、子どもたちにとっても深い学びに繋がっていたと思います。私が勤務していた頃はコロナ禍ということもあり実施できませんでした。例年であれば1・2年生の生活科でモルモットを貸し出してもらい、子どもたちで協力して飼育を行うそうです。高学年を担当したときに、子どもたちの中には当時のモルモットの名前を覚えている子もおり、印象深い体験をしていたと実感しました。



6年生を担当したときには、総合的な学習の時間の中でUNIQLOと協力して、「服のカプロジェクト」という取組に参加しました。全校の家庭に働きかけ、着なくなった子ども服を集める取組は大変だった分、やりがいを感じました。約1,600枚の子ども服が集まり、子どもたちの達成感あふれる表情からも取組に参加してよかったと思いました。



○広域人事期間中に苦労したこと

これまで勤務してきた地域よりも都会だったため、子どもたちの安全面に対する意識を強く持つようになりました。例えば、必ず下校の時刻を揃えるようにしたり、放課後の見回りを行ったり、子どもたちが安心・安全に登校が行えるように全職員で働きかけていました。

上川管内で生活すること自体が初めてだったので、地域の特色やよさなどがわからず、教育活動にどのように生かしていけるかを試行錯誤しました。同僚の先生方にこれまでの取組や経験を教えてもらい、少しずつ上川管内という地域を知っていくようにしました。

プライベートの生活に関しては、食品や生活用品を買うためのお店だけでなく、ショッピングを楽しむお店も充実していたため、不自由のない生活を送ることができました。

○広域人事のやりがいや魅力を伝えるメッセージ

これまで当たり前だと思っていたことが当たり前ではなく、通用していたことが通用しなくなります。地域を変えたことにより、教師としての視野を広げる貴重な経験となりました。また、広域人事を経験したことで、新たな人とのつながりを作ることもできました。若い先生にこそ、この制度を活用してもらいたいと思います。

(広域人事終了者)

氏名	武井 翔	現任校	遠軽町立丸瀬布中学校 (オホーツク)	前任校	旭川市立愛宕中学校 (上川)
----	------	-----	--------------------	-----	----------------

○現任校での勤務状況

現任校は、遠軽町の丸瀬布に位置する中学校であり、全校生徒が15名という小規模校です。生徒たちは皆明るく、学年の壁なく、協力し合いながら学校生活を送っています。

分掌は、教務部に所属し、主に研修を担当しております。教科指導については、全学年の国語の担当です。担当学年は、3年生の担任をしております。

採用からの在職期間も10年を越え、人から「ミドルリーダー」と呼ばれることも多くなってきました。



○広域人事により経験できたこと

広域人事により赴任した愛宕中学校には多くの国語教員がいましたので、国語について交流する機会を多く持つことができました。特に、学年の国語を二人で受け持つことができ、お互いに授業や進度や定期テストの問題作りなどについて意見交換できたのは、その後の成長にもつながりました。教科に関しては、複数のクラスの国語を受け持つことができ、同じ授業を複数回行うことにより、日々授業改善の機会をいただきました。

また、広域人事3年目には、北海道学校図書館研究大会旭川大会での授業者を、北海道NIE研究会全道大会では実践発表の機会を得ることができました。どちらの実践も「学校司書」「司書教諭」との連携を発表することができました。北海道内も「学校司書」の配置率は低く、まして「司書教諭」と連携して授業を行える学校は極めて少ないのが現状です。そのような中、こういった授業を行えたのは、広域人事制度があったおかげであると思います。

教科のを中心にして書きましたが、生徒指導や学級指導、部活指導、あるいは、チーム学校としての動き方など、他にも様々なことを経験することができます。

○広域人事期間中に苦労したこと

ありません。

○広域人事のやりがいや魅力を伝えるメッセージ

現在勤務しているオホーツク管内では、同じ教科の教員が一人の学校が多くあります。もちろん教科のことで悩んだときに、同じ職場の先生に相談することもできますし、他の学校の同じ教科の先生に相談することもできます。ですが、目の前の子どもの「教科」のことを相談できる相手はいないのです。同じ見方で子どもを見ている同じ教科の先生がいることは、どれほど心強いでしょうか。

若手教員向けの広域人事の対象は、少なくとも1校を経験した方となります。1校目で自分の教科指導について「もやもや」を抱えた経験がある方は、「物は試し」と広域人事を希望してみませんか？

(広域人事終了者)

氏名	郡山 亮太	現任校	別海町立別海中央小学校 (根室)	前任校	釧路市立新陽小学校 (釧路)
----	-------	-----	------------------	-----	----------------

○現任校での勤務状況

3年間の広域人事交流が終了し、別海中央小学校に赴任して3年半が経ちました。本校は、別海町の中央に位置し、全校児童338名と管内では3番目に大きな学校になります。また、平成25年度から学校力に関する総合実践事業の指定を受けていたこともあり、全職員年2回の授業公開や、ブラッシュアップ研修を計画的に行うなど、研修にも力を入れています。

初年度から、3年生・3年生・2年生の担任を務め、今年度は4年生の担任をしています。2年目からは学年主任を任されています。分掌は、生活部として、児童の生活指導全般を担当しています。

初任段階層が多い学校ですが、校内組織もしっかりと構築されており、全職員が同じベクトルで教育活動に取り組んでいます。



○広域人事により経験できたこと

根室管内は若手が多い地域になりますが、新陽小学校はベテランの教員が多く、学習指導や生徒指導においていろいろと勉強させていただきました。初年度は校長先生のご配慮で様々な学年に関わらせていただき、校外学習などには可能な限り参加させていただきました。2～3年目は、研究会での特設授業や教育実習生を担当させていただくなど、自分の教員としての経験値を高めることができました。

また、他管内の先生方と交流できたことも大きな財産となりました。3年間で様々な先生方と出会い、根室管内に戻った今でも繋がりのある先生方が多くおり、(隣の管内ということもあり)休みの日には食事に行ったり、一緒に研修会に参加したりするなどの交流があります。



○広域人事期間中に苦労したこと

学校でいえば、管内の違いというのは多少なりとも感じる部分です。今まで当たり前だと思っていたことが、全く違うこともあります。例えば、根室管内でスケートと言えばスピードスケートですが、釧路管内ではアイスホッケーになります。ですから、スケートの授業では私はスピードスケートの靴を履きましたが、児童はホッケー靴ということがありました。靴が違うと滑り方や止まり方の指導も違ってきますので、最初の年は苦労した記憶があります。

生活面では、住宅のすぐ近くには大型ショッピングモールもあり、生活するにあたり大きく苦労することはありませんでした。また、飲食店も多く、医療機関も充実しており、とても快適に生活することができました。

○広域人事のやりがいや魅力を伝えるメッセージ

行く前は楽しみな反面、不安も大きかったのが正直なところでしたが、釧路での3年間は、自分の教員としての視野を広げる大変貴重なものになりました。皆さんもぜひ広域人事を利用して、他管内の教育を学び、視野を広げ、教員としての幅を広げてみませんか？きっと素晴らしい時間を過ごせますよ。